

日経平均株価

2万3406円49銭

▲171円02銭(前日比)

TOPIX

1636.64

▲11.78(前日比)

2020
9/14
月曜日

発行元 株式会社 証券市場新聞社 編集部
〒541-0052 大阪市中央区安土町1-6-22-417号
TEL 06-6105-1904 FAX 06-7635-7861
marketpress.jp



TGS 2020開催迫る

史上初オンラインでインパクト大



東京ゲームショウ2020

オンラインメインビジュアル

最も幅多のロでは、く1し大ト上れば、例年以
増益カーソフからト
オンラを達成、大
幅の増益を達成、大
多の販売増から
の販売増から
ロードソフ
では、6月)決算
く1四半期(4
しかも先の第
大きくならう
トでの反応も
上にマーケット
れば、例年以
例がない。これまで
のリアルイベントの
場合は、来場者の多
くが首都圏で占めて
いたが、オンライン
になれば、国や地域
を問わず参加が可能
になることから、新
タイトルが評価され
る。

22ら細ルタどジレザイはMGRAP
16かがのイの新な ヴィドハバ
時日に。明詳ト新な ヴィドハバ



東京ゲームショウは1996年のスタート以降、今年で24年目を迎えるが、7年連続で20万人を超える来場者を集める大規模イベントがオンラインで開催されるのは世界的に

例がない。これまでのリアルイベントの多くは、来場者の多くが首都圏で占めていたが、オンラインになれば、国や地域を問わず参加が可能になることから、新タイトルが評価される。今年も例年以上の反響も期待される。今年も例年以上の反響も期待される。

より多くのユーザーが参加

9月23日から一般社団法人コンピュータエンターテインメント協会(CESA)主催による「東京ゲームショウ2020オンライン」が開催される。例年、幕張メッセで開催される世界最大規模のゲームイベントは、新型コロナウイルスの感染拡大を受けて史上初のオンライン開催となる。会場で各社の新タイトルを体験できない半面、多くのユーザーがオンラインでリアルにゲームショウに参加できることから、クリスマス商戦で期待できる企業は改めて評価される可能性がある。

には「CAPCOM TGS LIVE 2020」も開催される。スクエア・エニックス・ホールディングス(9684)PS5対応の「アウトライダーズ」や「キングダムハーツ」などの詳細発表に期待。ソニー(6758)年末商戦に発売予定のPS5の追加情報に期待。大手ソフトメーカー含めてPS5対応ソフトの詳細が明らかにすれば、ハード普及への期待が高まる。

今週の動意銘柄

ソフトバンクG大幅続落

米ハイテク株デリバティブ報道

週明け7日、ソフトバンクグループ(9984)が大幅

引で、ファンドなどの収益悪化につながる懸念が強まった。

ラクーンHD連続S高

ラクーンホールディングス(3031)がこの日もストップ高まで買われた。3日、21年4月期

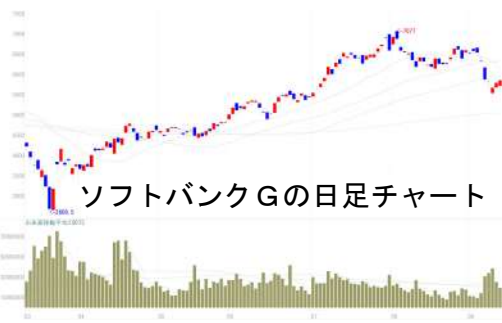
業績予想を連結売上高で従来の39億円から44億5000万円(46億円)前比28.0%増(32.3%増)、営業利益で8億1000万円(9億円)から11億8000万円(12億7000万円)へ(同67.1%増)へ上方修正しことを続いて好感。EC流通額が大幅に増加した。

ファナック増産報道

ファナック(6954)が急反発。「コロナ禍で工場での感染リスクが問題になる中、生産ラインで人間のそばで作業できるロボットの需要が高まっている。国内最大のファナックが2021年中に3倍に増産する」と報じたことが買い手掛かりになった。

正直いいさんの株で大判小判

週末11日の東京市場は続伸しました。前日の米株市場でダウやナスダックなど主要株価指数が大幅に反落したことを受け、売り先行で始まりましたが、下値は限られ寄り付きの120円安を底に持ち直しました。SQ値を上回ったこと、日経平均は高値圏で引いて海運やわれるなどで、中小型抑えられておけ引き戻す銘週明けはバリ続くかを見守り底入れから反発とになるでしょう。グロースの底入れ反発探る。推奨銘柄ではカブコン(9697)やレノバ(9519)、BASE(4477)が堅調で、スピード調整一巡から出直ってくる強い基調の銘柄を狙う考えです。花咲翁



ソフトバンクGの日足チャート

分買っていたとされ、損失リスクのある取(約4200億円)

ファーマーズ58%増益

めつつ、企業や公的研究機関と共同で創薬開発を行うことで、

8日、ファーマーズ(2929)が一段高。21年7月期は連結営業利益11億6600万円(前期比57.7%増)と大幅な増益を見込んだ。パイプライン拡充のため、自社開発を進めつつ、企業や公的研究機関と共同で創薬開発を行うことで、

イーレックスは稀薄化

イーレックス(9517)が急落、年初来安値を更新した。SMB C日興証券とみずほ証券を割当先とする第三者割当て、新株予約権を発行すると発表したことを受け、稀薄化と需給圧迫を懸念した売りに値を崩した。発行数は8万個(潜在株数800万株)で、新株すべてが権利行

サイネックスは新値

サイネックス(2376)が急伸、年初来高値を更新した。三鷹市とふるさと納税事務の一括業務代行に関する契約を結んだ。三鷹市のふるさと寄付金の魅力を全国に発信すると

海運投資判断引上げ

9日、日本郵船(9101)、商船三井(9104)、川崎汽

船(9107)の大海運株が逆行高。国内大手証券が大手3社の投資判断を引き上げたことが買い手掛かりになった。コンテナ業界が合従連衡の成果で柔軟な需給調整が可能になり、収益が安定化したことを評価した。

企業観察 大和ハウス工業(1925)

流動化で早期収益化図る

大和ハウス工業(1925)は不動産開発投資額を大幅に積み上げ、マルチテナント型物流施設開設を強化しているが、不動産流動化策も拡充して事業効率を高めるとともに早期収益化を図る構え。流動化についてはすでにリードで実績を積み上げてきたが、7月末にブラックストーン・グループとトーセイ・アセット・アドバイザーズが管理・運用する特定目的会社に物流施設4物件を売却する契約を結んだ。さらに、国内物流施設に特化した私募ファンド「大和ハウスロジスティクスコアファンド」の設立も検討している。

ブラックストーンと契約、私募Fも

ブラックストーンとトーセイ・アセットとの契約は国内物流施設のうち4物件を約550億円で売却するが、売却後も「DPL」ブランド推進のための施設名は変更せず、大和ハウスプロパティマネジメントが管理・運営。また、ブラックストーンの関連会社とは米国、欧州での物流施設開発・物流施設投資で協力する協定も結んだ。国内物流施設特化私募ファンドは次世代型・環境配慮型物流施設を対象に年内をめどに設立の予定。大和ハウスプロパティマネジメントの運営により、中期的に資産規模3000億円を目指す。

10日、トビラシステムズ(4441)が4日ぶり反落。20年10月期の第3四半期累計(11~7月)決算を発表、連結売上高で9億200万円(前年同期比24.9%増)、営業利益で3億7600万円(同18.1%増)となったが、利益確定売りに押されている。スマートフォン利用者を狙った犯罪抑止に効果的なセキュリティ商品・

サービスは引き続き拡大している。Bガレージ計画超過 ビューティガレージ(3180)が急伸。21年4月期1Qの連結営業利益は1億7600万円(前年同期比11.4%増)で着地、2Q累計計画の1億7200万円(同45.8%減)を超過した。デジタル物販が大きく伸びた。併せて、プロ用まつげエクステンションの松風グループ買収も発表。

再点火反転攻勢版を發表したことが材料視された。点火。電子・車載電装事業売上高比率5割達成、

ダイヤHDはS高

中期経営計画を材料視

9日、ダイヤHD(2021)は、経営計画「DSA」を材料視したことが、ダイヤHDの株価を押し上げた。ダイヤHDは、2021年度営業利益率6%、ROE15%を目標とする。IOT軸とした新規事業創出を柱として、2023年度売上高2000億円、2024年度営業利益率24%、ROE15%を目標とする。



ダイヤHDの株価は、9日、ダイヤHD(2021)は、経営計画「DSA」を材料視したことが、ダイヤHDの株価を押し上げた。ダイヤHDは、2021年度営業利益率6%、ROE15%を目標とする。IOT軸とした新規事業創出を柱として、2023年度売上高2000億円、2024年度営業利益率24%、ROE15%を目標とする。

以上を目指す。コーセーRE18%増益 コーセーアールイー(3246)が3連騰。21年1月期の第2四半期累計決算は、連結営業利益で2億7300万円(前年同期比17.3%増)と大幅な増益となった。福岡市に1棟を完成させ、前期繰越在庫の引渡しを進め、中古物件を含む40戸(前年同期は41戸)を引渡した。また、新たに福岡市で1棟の販売を開始したほか、福岡市

転ばぬ先のテクニカル

ペアトレード 先週の東京株式市場は続伸し、TOPIXが終値ベースで6月高値を更新しました。NY市場が前週に続き荒れている割には非常に東京は強い動きとなっています。そのNY、中でもナスダックは正念場を迎えています。9月4日の急落では日足ローソク足が436ポイントもの下髭を引き底入れを示唆しましたが、その後は下髭の中での推移となり、4日安値を割り込むと急落もあり得ます。ここが今後の注目点です。ただし、東京市場は下値が底堅くなっており、新政権への期待の高まりを感じます。物色対象が徐々にバリュー株へと傾きつつあり、ここより売買代金が増加していくのかどうかとあります。NY市場が不安定なためにのめり込んではいけません、NT倍率を考慮して日経平均採用銘柄売り、TOPIX銘柄買いといったペアトレードでポジションを積むのも悪くはないでしょう。 日々勇太郎

トビラシステムズ利益確定

Bガレージ計画超過

キリン堂HDストップ高

米ファンドTOBで上場廃止報道

10日、キリン堂ホールディングス(3194)がストップ高。同社が東証1部上場廃止を検討していることが関係者への取材で分かったと共同通信が報じた。「米投資ファンドのベインキャピタルが株式公開買い付け(TOB)でキリン堂の全株式を取得して完全子会社化する方式となる」と伝



ネオジャパン出尽くし

ネオジャパン(3

海運出遅れ修正加速

週末11日、日本郵船(9101)、商船三井(9104)、川崎汽船(9107)の大手海運株が続騰、前日に続いて業種別騰落率でトップに立った。中国経済回復に伴う海運市況改善

価値を向上させるべく、株式公開買付による資本政策を含め、検討を行っているが、現時点で具体的に確定した事実はない」と発表している。

アイモバ2桁増益初配当

アイモバ(6535)がストップ高。21年7月期は連結営業利益25億円(前期比11.3%増)と2ケタ増益を見込み、年間25円の初配当を実施することが好感された。

今週の動意銘柄

国策に売なし・不景気の株高・日経平均24000円目標大予想接近次は28000円目標押目買

◎自信の的中率・最近の底値買指示銘柄例(よくお調べください)(9月7日)

- 三菱商事 → 8月中旬63%の減益の記事で急落時2200円前後買指示はその後(8508) 大投資家バヘット氏の商社買のニュースにて2600円台に上昇す
- トヨタ → 5800~6000円買 → 7300円に上昇す
- ANA → 2100~2200円買 → 2700円に上昇す
- アルプス → 900円買前後買 → 1770円に上昇中
- JR東海 → 13000円買前後買 → 16000円に上昇中
- コマツ → 1600~1700円買 → 2350円に上昇中
- 日本郵船 → 1200円買前後買 → 1650円に上昇中
- 三井金属 → 1800円買 → 2600円に上昇中
- 東急不動 → 400円前後買 → 470円に上昇中
- 大和ハウス → 2500円買 → 2900円に上昇中
- ツムラ → 2400~2500円買 → 3000円に上昇中

◎株は論より証拠・上記の如く大幅高予想銘柄ズバリお知らせします(1回無料)(成果確認)

田舎の名医が目標なり(会員のみ知る) (実績40年) 金融商品取引業者 登録番号 東海財務局長(金商)第45号(一般社団法人)日本投資顧問業協会会員

大伸経済研究社 会費1ヶ年50万円、2ヶ年80万円(継続同額)(税込) 公表銘柄は一例であり全てではありません 目標値は当社独自の分析による予想値です

少数会員制(相談自由) 投資成果に自信あり 有価証券の運用には、価格変動リスク、株式発行者の信用リスク、流動性リスクがあります。運用の結果、元本を割り込み、損失を被ることがあります。リスクに関して詳しくは契約締結前の書面をご覧ください。

電話058-243-5690(午前8:30~11:00) (電話等による入会勧誘は一切致しません)

〒501-3144 岐阜市芥見大般若2-25-2 [インターネットでの資料請求はここをクリック!](#)

イトアンド
(28882)

在宅需要で冷凍食品好調 持株会社に移行し経営基盤強化

1 四半期
では前年
同期に比
べて大き
く上回る
など好調
を維持し

還元キャンペーン実施中

イトアンド（2882）は全国的生活協同組合や一般量販店、さらにはインターネットで「大阪王将」ブランドなどの冷凍食品を販売、これと併せて大衆中華料理の「大阪王将」を主力にラーメンの「よってこや」、「太陽のトマト麺」、ベーカリーカフェ「R Baker」などの外食チェーン店を展開する、食のライフプランニングカンパニーである。

外食事業では一部店舗で、政府の緊急事態宣言を受けた各自治体からの休業や営業時間短縮等の要請への対応のため影響を受けているが、食品事業は、新型コロナウイルス感染拡大防止を目的とした不要不急の外出自粛要請に伴う在宅需要の拡大を背景に、主力製品の「大阪王将 羽根つき餃子」など冷凍食品の販売が第

ている。

大阪王将史上最大の還元キャンペーン「ゴチ餃子」を7月28日から実施、誰でも気軽に街の頑張っている人に餃子をご馳走出来るというキャンペーンで、9月30日までゴチ餃子券販売を予定している。

10月1日付で「イトアンドホールディングス」へ商号変更を行い、持株会社体制へ移行、これを機に経営と執行の分離をより明確にしてガバナンスの強化を図り、経営基盤の一層の強化を図る。



特選銘柄

購読会員募集中！

アンジェスは紹介後に株価6倍化！！



高野恭壽の
株式情報 **これでどや!!**

<https://marketpress.jp/kabu-takano/>

marketpress
証券市場新聞

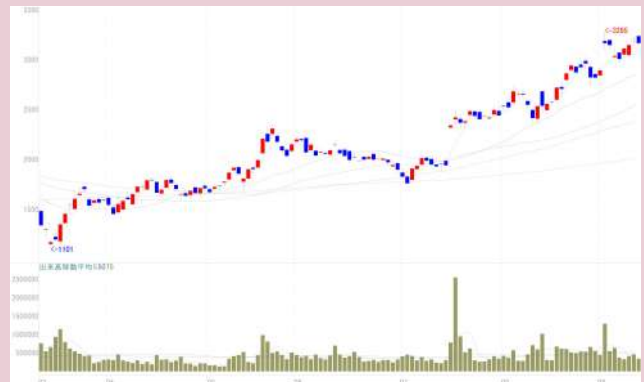
チャートから読む 騰落銘柄

東京ドーム(9681)



7月31日に625円まで売り叩かれた後にジリ高基調続き、目先は200日線回復から6月8日の高値944円回復が視野に入る。プロ野球の入場制限前倒し緩和となれば、業績回復期待が高まろう。

ラクス(3923)



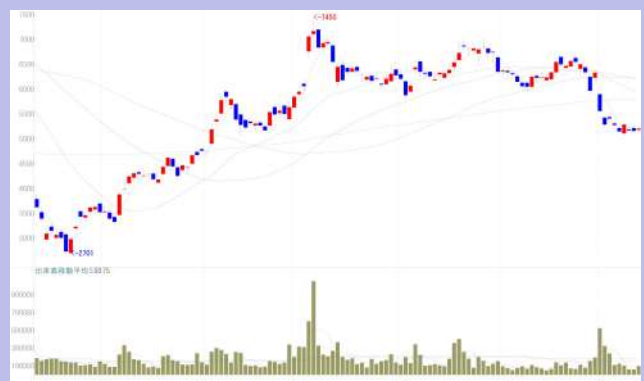
大勢上昇トレンド確認のあと、25日移動平均を支持ラインに過熱感なく下値を切り上げる。業務効率化支援クラウドサービスによる利益成長性に加え、好需給も株価を押し上げ、青空相場を一段高へ。

NTTドコモ(9437)



菅官房長官のスマホ料金引き下げ余地発言とドコモ口座不正被害のダブルパンチで7月安値2815.5円以来の水準まで下落。3月の年初来安値2700円を割れば19年4月安値2257.5円が視野。

内田洋行(8057)



今期17%営業減益予想を失望。急落後いったん下げ渋るが、押し買いに信用買い残の整理が進まず上値は重い。26週線や12カ月線も下回り、5000円台を割り込めば4000円近辺までフシ目はない。

※チャートは日足

潮流

バブル上昇分弾ける!!

適正水準からの下落は買い好機

marKet / bAnk

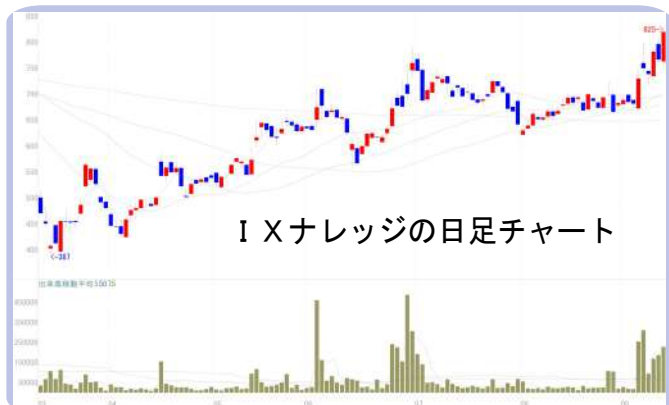


合株価指数は8日に1万0847と2日に付けた過去最高値(1万2074)からの下落率は調整局面入りとされる10%に達した。

地合いが大きく変わったのは明らかで、中期的なトレンドを示す50日移動平均(1万0880)も下回った。25日移動平均線(1万1286.81)を明確に下回った。同平均線は5月中旬以降、少なくとも4回にわたって下落局面の下値支持線として機能していたが、あっさり割り込んだ。

株式市場を牽引してきたGAFAM(グーグルの親会社アルファベット、アップル、フェイスブック、アマゾン・ドット・コム、マイクロソフト)といった大型ネット株が大きく崩れたことで投資家は不安になり、慎重になっている。中でもグーグル、アマゾン、マイクロソフトは8月の行き過ぎた上昇分を帳消しにした。

8日に電気自動車のテスラ株が21.1%安の330.21ドルで引けた。1日に502.49ドルの上場来高値を付けたばかりだったが、下落率は4営業日で34%に達した。終値ベースの時価総額は過去最高だった8月31日の4643億ドルから8日は3076億ドルに減少



米株式市場が調整色を強めている。特にハイテク株比率が高いナスダック総

した。1週間で1567億ドル(16兆6100億円)を失った計算だ。

S&P500種株価指数への採用見送りが明らかになり失望売りが殺到した。テスラも300ドルまで下落すると8月の上昇分を全て

失うことになる。8月の上昇は明らかにバブル的な上昇だった。「上がるから買う、買うから上がる」といった「皆で買えば怖くない」という異常な状態であった。そのバブルが弾けたことで適正な株価水準に戻っただけだ。この水準から下落したところは買いのチャンスとなる。

ナスダック総合指数は11月の大統領選後に過去最高値を更新するだろう。今は一度リセットした状態から新たに投資できることをチャンスと捉えている。日本も同様に「巣ごもり銘柄」といったネット株の8月の上昇は異常であった。特にマザーズ市場の直近IPO銘柄中心にバブル的な上昇を演じた。バブルが弾け、高値から大幅な調整をしている銘柄は多数ある。ただ、底打ち感が出始めている銘柄が増えている事に変化を感じる。

潮流銘柄はIXナレッジ(9753)、ファーマフーズ(2929)、ショーケース(3909)。

から優勝。直近では2017年1月に始まった夕刊フジ主催の「株・1グランプリ」において優勝。1カ月間における3銘柄の合計パフォーマンスでは15.5%と断トツの結果。週刊現代、週刊ポスト、夕刊フジ、ネットマネー、月刊カレントなど幅広く執筆活動を行う。現在、個人投資家に投資情報サービスを行う。http://marketbank.jp



岡山 憲史氏(株式会社マーケットバンク代表取締役)のプロフィール

1999年2月日本初の資産運用コンテンツ「第一回S1グランプリ」にて約1万人の参加者の中

大幅調整ですでに底打ち感

今週は上値を試す

変化買う外国人投資家に期待

先週の日経平均は前週比約201円高となり、2週連続の陽線となった。NY市場が乱高下する中、日本株は逆に確

272円88銭で決まり、金曜日の引け値はそれを大幅に上回る引け値となっている。

資家にしてみれば、日本株を見直すタイミングなのか

りし、米国市場離れの展開であった。先週は9月のメジャーS/Q週だったため、もう少し乱高下するかと予想していたが、結局は2万3000円を意識した狭いレンジで取引された。

今週に先高期待を残す展開であった。世界的に見れば日本株は出遅れ株に位置する。米国市場が一旦調整局面を迎えているのであれば、出遅れ株の物色が始まってもおかしくはない。

14日には自民党の総裁選が行われ、事実上の次期総理が決まる。「菅首相」で相場は織り込んでいるもの、実際決まれば祝儀相場もある。需給的にもS/Qを通過したので動きやすい状態である。今週は上値を試す展開になると予想する。一目均衡表では転換線、基準線とも横ばいで推移しているの



敏腕先物ディーラー

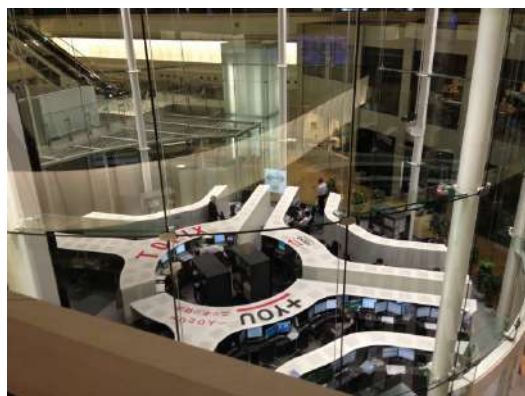
ハチロクの裏話



ハチロクのプロフィール
証券アナリストから証券会社

の法人部長を経て、225先物オプションディーラーに転身。アナリスト時代に培ったテクニカルやファンダメンタルズなどの分析力を駆使、リーマンショックなどの暴落時も乗り越えて西日本における225先物オプションディーラーとしてはトップクラスの運用実績を誇る。

うに、世界で活躍する企業でも日本株は相対的に株価水準が低い。米国が調整に入れば、日本株に少し資金が回って来る可能性がある。さらに安倍首相の



日本株は相対的に株価水準が低い

に沿った動きが期待される。今週は上値を試す展開になると予想する。一目均衡表では転換線、基準線とも横ばいで推移しているの

待されよう。3日の高値2万3580円51銭がターゲットとなってくるが、抜けてきても6月からの右肩上がりのBOX相場の上限が2万3750円処に位置するため、この水準では売り物が出そうである。下値は新値3本足の陰転値が2万3032円51銭であるため、引け値でこのラインを割ってくると、再びBOX相場の下限を探る展開になるかもしれない。その際には9日の安値23878円71銭が意識される展開となろう。今週は2万3000円から2万3750円を想定する。

(ハチロク)

辞任により、日本にもい

い変化が起

こるかもしれない

う期待は大

きい。「変

化は買い」

のスタン

の外国人投

資家にして

みれば、日

本株を見

直すタイ

ミングな

のか

もしれな

い。

14日には

自民党の

総裁選が

行われ、

事実上の

次期総

理が決

まる。「

菅首相

」で相場

は織り込

んでいる

もの、実

際決ま

れば祝

儀相場

もある。

需給的

にもS/Q

を通過

したので

動きや

すい状

態である。

今週は

上値を

試す展

開にな

ると予

想する。

一目

均衡

表では

星野三太郎の株街往来

～一極集中解消の突破口～

★ 今春の緊急

事態宣言以降、プレス発表をオンラインで開催する企業が増えたことで、大阪を拠点する弊社も取材機会が増えた。

その昔、大阪取引所で現物市場が存在していたときは、多くの関西企業が決算発表を地元で行っていたが、東証に統合されて以降は本社機能を東京に移転して、プレス発表も東京でしか行わないことが多くなった。様々なことが東京一極集中となる中で、リモート化は地方分散のキッカケになればと思っていた中で、パソナの本社淡路移転は一極集中解消の突破口になれば期待が高まる。

1200人も社員を引き連れての移転にはリスクを懸念する向きも多い。ただこれが成功すれば、他の企業も何らかの形で本社機能を分散させる取り組みが活発化するかも知れない。地銀の再編が株式市場でも話題となるなかで、アジアの金融ハブを関西や福岡に設置するとの報道もあった。それを実現するには幾多のハードルを超える必要があるが、西日本のどこかに大きな金融機能ができれば、地方活性化が大きく進展するのでは思う。



New product

「秋のおすすめ」を販売
 グルメ杵屋 杵屋、そじ坊などで期間限定



グルメ杵屋（9850）は「秋のおすすめ」として「杵屋」、「そじ坊」などの店舗で期間限定商品の販売を行っている。

「杵屋」や「めん坊」などでは秋の彩麺として、「杵屋ちゃんぽんうどん定食」と「牛肉と茎わかめうどん定食」。「そじ坊」では「秋の味わい」として「サーモンいくらご飯定食」や「サーモン塩麹漬けご飯定食」など。

「井井亭」では「秋の上天井」、「おらが蕎麦」では「肉味噌と揚げ茄子のピリ辛冷やしそば」、麦まると杵屋麦丸ではチャンポンうどんとおにぎりセット、シジャンでは「牛焼肉のビビン麺セット」や「牛カルビチゲ定食」を販売している。

PickGo 買い物代行

★ キリン堂HD

★ キリン堂がサービス連携



PickGo 買い物代行

神奈川、千葉、埼玉、愛知、大阪、福岡、展開するプロの買い物代行

★ キリン堂ホールディングス（3194）の中核子会社であるキリン堂は、Cloud（東京都千代田区）が東京都、

サービス「PickGo 買い物代行」の連携店として登録されたことを発表した。大阪府下のドラッグストアキリン堂・サーバ121店舗においてこのサービスを9月1日にスタートしている。「PickGo 買い物代行」サービスは、自宅や外出先からスマートフォンの上で、買い物先と購入商品を入力すること、自宅または指定の場所まで、プロのドライバーが24時間いつでも商品をお届けするサービス。最短1時間以内で、商品を受け取ることが可能で、買い物が不便と感ずる人の負担を軽減できる。

企業レター

記者の視点 相場見通し

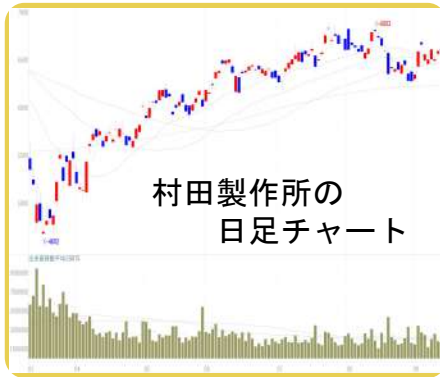
15日にアップルイベント

FOMCと日銀会合を注視

9月第2週は先週からのニューヨーク市場の下げ止まりが待たれていたが、8日と10日に主要3指数が急落となり、東京市場でも日経平均は9日に2万2800円台まで突っ込む場面があったものの、11日は2万3400円台引けとなり底堅い動きとなった。

先週からの不安材料となっていたのはソフトバンクグループ(9984)の株式デリバティブ取引と英アストラゼネカによる新型コロナウイルスの臨床試験の中断、これにテスラ株のS&P500指数採用見送りや米国議会の支援策の動向が下げに拍車をかけた。ソフトバンクGはナスダックの急落が売り材料になったが、そもそも含み益を抱えていたことから過剰反応。アストラゼネカに関して、世界で数多くのワクチン開発が進行していることから、1社だけの中断で過度に悲観するものでもない。高値警戒感が高まっていったところから、売りに過ぎない

だろう。イベント的に今週は15日に8月小売売上高や8月中国での経済指標発表が相次ぐが、米国では16日にFOMCの議決案が発表される見込みがあり、注目さ



が売りに過ぎないだろう。イベント的に今週は15日に8月小売売上高や8月中国での経済指標発表が相次ぐが、米国では16日にFOMCの議決案が発表される見込みがあり、注目さ

今週のスケジュール

- ・11日 米8月消費者物価(21:30)
- ・14日 7月第三次産業活動指数(13:30)
自民党総裁選投票開票
- ・15日 中国8月工業生産、中国8月小売売上高、中国8月都市部固定資産投資(11:00)
独9月ZEW景況感指数(18:00)
FOMC(~16日)
米8月鉱工業生産・設備稼働率(21:15)
国連総会開会(一般討論演説は9/22から。日米中ロ首脳などが演説)
- ・16日 日銀金融政策決定会合(~17日)
8月貿易統計(8:50)
臨時国会召集の見通し(新首相を選出し新内閣発足)
パウエルFRB議長会見(経済見通し発表)
米8月小売売上高(21:30)
- ・17日 黒田日銀総裁会見
米8月住宅着工件数(21:30)
- ・18日 8月消費者物価(8:30)
米4-6月期経常収支(21:30)

れよう。国内でも日銀金融政策決定会合を受けて17日に黒田総裁が見控えており、日米金融当局の動向次第で為替ともども変動する可能性がある。個別では米アップル社が恒例の秋のイベントを15日午前10時(日本時間16日午前2時)に開催することが最大の注目点。今回はiPhone12が5G対応なることが有力視されている。この新型端末が評価されれば、信越化学工業(4063)や村田製作所(6981)などの電子部品や他のアップル関連が再度物色されそう。

梅雨明け以降猛暑が続く、ほぼ24時間エアコンをつけっぱなしにしていたせいかどうもききが悪い。温度設定を下げて風力を強くするとそれなりにきくが、これまでも涼しい設定だと外の方が涼しいこともある。付け替えて5、6年しか経っていないのでまだ使えると思うが、来年の夏の盛りには故障してはたまらない。今の日本の夏はエアコンなしでは命に危険が及ぶ。東京市場では真夏のIPOファイバーを経て、グロース株物色の勢いが衰えた。ただ、買い替えではなく買いた直しの時期が来たと思う。

編集後記

【ご注意】証券市場新聞は投資の参考になる情報提供を目的としており、投資の勧誘をするものではありません。記事には業績や株価、出来事について今後の見通しを記述したものが含まれていますが、それらはあくまで予想であり、内容の正確性、信頼性、予測的的確性を保障するものではありません。当紙が掲載している情報に基づく投資で被らたいたいかなる損害について、当社と情報提供者は一切の責任を負いません。投資についての決定はすべてご自身の判断、責任でお願いいたします。